

# みえ県連協ニュース

三重県学童保育連絡協議会

津市下弁財町津興 1350

専用携帯 080-2651-5711

2024年度 No.1 (2024年7月号)

Eメール: miegakudou@outlook.jp

～ よりよい学童保育をめざして ～

## 2024年度 三重県学童保育連絡協議会総会 開催

6月30日(日)に、2024年度総会を津市久居総合福祉会館にて開催し、県内各地域から保護者・指導員ら53名(加盟支援数112支援のうち66支援)が参加しました。

2023年度活動報告及び決算報告、2024年度役員体制(案)、活動方針(案)並びに予算(案)についても提案・審議され、いずれも原案どおりご承認いただきました。

今年度も、学童保育の一層の充実、各市町における学童保育行政の滞りの無い実施、運営基準の堅持・引き上げの実現、県単補助事業の充実などを求め、県内各地域の状況把握に努めるとともに、『日本の学童ほいく』の普及拡大、県内学童保育の情報交流等、諸活動に取り組んでまいりますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### ■三重県下学童保育所名簿についてのお詫びと訂正について

議案書資料4「2024年度三重県学童保育所名簿(加入のみ)」に誤りがありました。以下の通り訂正し、お詫びさせていただきます。

総会議案書 P37

・番号18 削除

・番号44 栗葉放課後児童クラブ → 栗葉放課後児童クラブ 1・栗葉放課後児童クラブ 2

### 《2024年度 役員体制》

#### 役員

会長 藤田 智成 (津・指導員)  
副会長 中西 和久 (松阪市連協)  
副会長 水平 学 (津市連協・保護者)  
会計 庄司 まみ (津・指導員OG)  
事務局長 小田 悦子 (鈴鹿・指導員OG)  
事務局員 濱島 建一 (津市連協・保護者)  
事務局員 杉野 真斎 (津・指導員)

#### 地域役員

四日市 上野 尚子 (指導員)  
鈴鹿 荻野 理恵 (鈴鹿市連協・指導員)  
亀山 佐熊 秀樹 (亀山市連協・指導員)  
津 鈴木 理恵子 (津市連協・指導員)  
松阪 田口 智彬 (松阪市連協・指導員)  
熊野 柝尾 英未 (指導員)  
熊野 西山 梨紗 (指導員)

会計監査 松阪市連協

顧問 落合 郁夫 (津・くるみ会OB)

### 第49回全国学童保育指導員学校(西日本・三重会場)開催される

6月9日(日)に、オンラインと現地開催のハイブリッド形式で行われ、539名(三重県内からは222名)が参加しました。

午前の全体講義では、大阪健康福祉短期大学の代田盛一郎さんに、「今、あらためて子どもの遊びについて考えるー遊びの“復権”と遊び世界の“再生”ー」と題して講義をしていただきました。

午後は、基礎講座と理論講座の6講座はオンラインで、実践講座4講座は現地会場(津市アストプラザ)で受講しました。実践講座は、久々の対面での研修になり、活発な意見交換をすることができました。

指導員学校は、指導員にとって現任研修の場です。

来年度は、愛知県での開催予定ですので、ぜひ一緒に学びあいましょう!

### 第59回全国学童保育研究集会 in 岡山(倉敷市)

全体会 2024年11月16日(土) 12:30~16:30

分科会 2024年11月17日(日) 10:00~16:00

・会場開催の分科会(対面のみで実施) 27テーマ

・オンライン開催の分科会(オンラインのみで実施) 16テーマ

終日、午前、午後の分科会があり、午前と午後の分科会は組み合わせ可

※詳細は『日本の学童ほいく』7月号綴じ込みリーフレットをご覧ください。

1年に一度の、全国の指導員・保護者等が集まり、2日間の研修をともに受ける貴重な機会です。ぜひ、参加して、語りあい学びあいたいですね。

～ 申し込み始まっています ～

\*\*\*\*\*

#### 【今後の予定】

9月10日(火) 役員会② オンライン

9月24日(火) 拡大役員会① オンライン

\*\*\*\*\*

### 読むサプリ 『日本の学童ほいく』7月号

#### 掲載者紹介

P35 たのしいな「指令ドッジ」津市南が丘地区放課後児童クラブ たんぽぽクラブ

P37 こどもランド クイズ 5月号の当選者 川せりこ(三重県)

#### 読みどころ

★P9~ 特集 一緒に考えよう 学童保育のいまとこれから

P10~学童保育の施策をめぐる現状と課題ー保護者と指導員が共に(全国学童保育連絡協議会)

P30~学童保育に関わる用語・仕組みの解説(編集部)

最近の国の動向をふまえて、今後の課題にふれています。普段触れる機会の少ない言葉も出てきますが、用語や仕組みの解説も載っていますので、この機会をとらえて、今一度立ち止まり、子どものことを真ん中において、学童保育のことを一緒に考えてみませんか。